

社会資本総合整備計画書

(総合交付金)

(陸前高田市)

令和2年4月1日

社会資本総合整備計画（総合交付金）

令和2年4月1日

計画の名称	陸前高田市における安全・安心・快適な生活環境を支える道づくり						重点計画の該当					
計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）		交付対象	陸前高田市								
計画の目標	陸前高田市民が安全に安心して快適に通行できる道路整備と市道構造物の修繕を行う											
計画の成果目標（定量的指標）	市道を改良・舗装新設及び側溝・舗装の修繕を実施することにより、市民が安全に安心して快適に通行することができる道路が増加する。また老朽化が進む市道構造物の修繕を予防的に実施することでより安心・安全・快適な道路となる。											
定量的指標の定義及び算定式	陸前高田市道路台帳による市道の舗装率及び改良率により算出する。（※目標値を算出する場合、R1当初道路台帳総延長は固定する） [R1当初舗装率] R1当初舗装済道路延長(m)/R1当初道路台帳総延長(m)％ = 304,909m / 582,880m = 52.0％ [R1当初改良率] R1当初改良済道路延長(m)/R1当初道路台帳総延長(m)％ = 277,475m / 582,880m = 48.0％						備考					
		定量的指標の現況値及び目標値										
		当初現況値 (R1当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)								
		52.0%	52.0%	53.0%								
		48.0%	51.0%	54.0%								
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	650百万円	A	650百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

交付対象事業

A1 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	備考
											R2	R3	R4	R5	R6			
A01-001	道路	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	市町村道	改築	(1) 玉山線	改良舗装 L=300m	陸前高田市						20	-	
A01-002	道路	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	市町村道	改築	(他) 高見線	道路改良 L=235m	陸前高田市						100	-	
A01-003	道路	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	市町村道	改築	(2) 滝の里線	改良舗装 L=1200m	陸前高田市						50	-	
A01-004	道路	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	市町村道	改築	(2) 柳沢和方線	道路改良 L=1340m	陸前高田市						80	-	
A01-005	道路	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	市町村道	改築	(1) 和野線	道路改良 L=2000m	陸前高田市						200	-	
A01-006	道路	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	市町村道	改築	(他) 薬師1号線	改良舗装 L=342m	陸前高田市						40	-	
A01-007	道路	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	市町村道	改築	(他) 松峰線	道路改良 L=1200m	陸前高田市						60	-	
A01-008	道路	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	市町村道	改築	(他) 新田北平線	道路改良 L=300m	陸前高田市						50	-	
A01-009	道路	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	市町村道	改築	(他) 浜田川右岸1号線	道路改良 L=1000m	陸前高田市						50	-	
											合計					650		
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
											R2	R3	R4	R5	R6			
											合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考				

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											R2	R3	R4	R5	R6		
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									R2	R3	R4	R5	R6		
合計											0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

その他関連する事業

計画等の名称 17 陸前高田市における安全・安心・快適な生活環境を支える道づくり(防災・安全)													
事業種別		交付対象		要素となる事業名 (事業箇所)		市町村名						全体事業費 (百万円)	備考
A01-002	道路	陸前高田市		(他) 相川新田線ほか		陸前高田市						200	防災・資金移行費
A01-003	道路	陸前高田市		(他) 嶋部線ほか		陸前高田市						150	防災・資金移行費
A01-004	道路	陸前高田市		路面性状調査事業		陸前高田市						30	防災・資金移行費
A01-005	道路	陸前高田市		(他) 今泉下矢作線		陸前高田市						200	防災・資金移行費
A01-006	道路	陸前高田市		(他) 詔石線		陸前高田市						564	防災・資金移行費

A'	1,244	B'	0	C'	0	$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$	0.0%
----	-------	----	---	----	---	---------------------------------------	------

交付金の執行状況

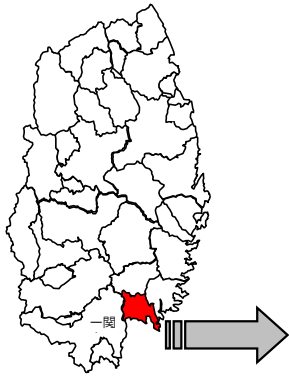
(単位：百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6
配分額 (a)	22.4	35.7	22.9		
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0	0.0		
交付額 (c=a+b)	22.4	35.7	22.9		
前年度からの繰越額 (d)	0.0	0.0	0.0		
支払済額 (e)	22.4	35.7	22.9		
翌年度繰越額 (f)	0.0	0.0	0.0		
うち未契約繰越額 (g)	0.0	0.0	0.0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0	0.0	0.0		
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 令和5年度は、決算額が確定でき次第記載。

(参考図面) 社会資本整備総合交付金

計画の名称	陸前高田市における安全・安心・快適な生活環境を支える道づくり	
計画の期間	令和2年度 ～ 令和6年度 (5年間)	交付対象 陸前高田市



【凡例】

《交付団体:陸前高田市》

- 基幹事業(A)
- △ 関連社会資本整備事業(B)
- 効果促進事業(C)

《事業種別》

- 改築系
- 区画・街路
- 補修系
- 公安系

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 陸前高田市における安全・安心・快適な生活環境を支える道づくり
(総合交付金)

市町村名: 陸前高田市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合	
1) 計画の目標が市町村の総合計画[具体の計画名を記載]と適合している。	○
II. 計画の効果・効率性	
②目標と事業内容の整合性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性がある	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性がある	○
3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものになっている	○
③事業の効果	
1) 目標に対して十分な効果を得られる事業で構成されている	○
2) ハードとソフトの連携が図られている	○
III. 計画の実現可能性	
④計画の具体性	
1) ハード整備の必要性が整理されている	○
2) ハード事業で保全される区域が明確である	○
3) ソフト施策の目的が明確である	○
⑤円滑な事業執行の環境	
1) 計画の内容に関し、地元に対する事前説明が行われている	○